

97%の可能性 ~今こそ世界へ~

岡部ゼミナール

豊重大地* 出原由美 牧春香

菅原雄太 星出貴弘 池田遥奈

Agenda

- I 海洋深層水
- II 提案
- III 実現可能性
- IV 展望



●研究目的—海洋深層水

我々は、『日本の海洋深層水を海外で販売したい』をコンセプトに可能性を考察した。

現在、地球上の水は約 14 億 km^3 あると言われているが、その中でも、直接的に人間が利用できるのは、約 0.001 億 km^3 である。しかし、利用可能なその僅かな水を 72 億人の人間と人間以外の生物が分け合わなければならない、まさに人類は水不足の危機に直面している。そこで、地球上に 97.47%も存在する資源、海水を活用できないか注目し、中でも海洋深層水に目を向けた。

海洋深層水には、ミネラル豊富、清浄性、安定した資源といった 3 つのメリットがあり、島国である日本は、それをほぼ無尽蔵に使用できる地理的アドバンテージを有している。それに加え、海水を淡水に変え、生活用水や飲料水として利用できるようにする海水淡水化技術が、日本は世界トップクラスである。日本が誇る技術力を生かしたプレミアムな商品である海洋深層水を世界に販売することは、日本のビジネスチャンスになり得ると考え、提案に繋ぐ。

・海洋深層水を選んだ理由

なぜ海洋深層水なのか？

島国

→他国にはない地理的アドバンテージ

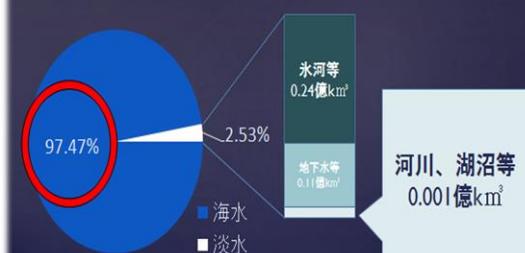
プレミアム
商品

海水淡水化技術

→日本の技術が世界トップクラス

・地球上の水資源量 出典：国土交通省

地球上の水の量 13.86億 km^3



出典：国土交通省

●提案

『中国の都市部に通販サイトを介して日本の海洋深層水を売る』

国連の基準によると、中国の産業・ビジネスの中心地である4直轄市のうち、3直轄市が絶対的の水不足であると言われている。そして、中国全域の都市飲用水状況に関する調査結果によると半数の地域が汚染水を配給されていることが判明し、一部地域では水質汚染の影響により水道水の断絶、飲料水の品切れといった事態も発生した。

通販サイトを選択した理由としては、コストを最小限に抑えられることや消費者を獲得しやすいことが挙げられる。さらに、中国では反日暴動で店舗が破壊されるなどのカントリーリスクが懸念されるが、通販サイトでの販売では現地に拠点を置く必要がないのでカントリーリスク回避に繋がるのである。

また、世界トップクラスの海水淡水化技術を持つ日本は、海洋深層水の製造の際に成分を自由に調整できる。糖尿病大国でもある中国に日本の特定保健用飲料のような商品として販売すれば需要があるのではと判断した。

以上のことから『中国の都市部に通販サイトを介して日本の海洋深層水を売る』を提案とし、中国市場に参入する上での販売価格の設定、見込まれる利益、中国製品との競争に勝利できるか等のさらなる考察を行う。

・ミネラルウォーター品切れの様子(中国)



・日本企業が反日暴動の被害を受けている様子(中国)



●結論・展望

本提案により、日本企業のさらなる経済発展や中国人の飲料水不足の解消へと繋がるなどのメリットが生まれるだろう。また、本提案が成功すれば日本の飲料水企業にとって新しいビジネスチャンスとなるだろう。水不足が深刻となっている現在、日本の海水淡水化技術から作られる海洋深層水を海外戦略として生かすべきである。日本の海洋深層水が世界市場へ踏み出す第一歩となると結びつけ、本提案の終わりとする。